

様式第2号の1-①【(1)実務経験のある教員等による授業科目の配置】

※大学・短期大学・高等専門学校は、この様式を用いること。専門学校は、様式第2号の1-②を用いること。

学校名	目白大学
設置者名	学校法人目白学園

1. 「実務経験のある教員等による授業科目」の数

学部名	学科名	夜間・通信制の場合	実務経験のある教員等による授業科目の単位数				省令で定める基準単位数	配置困難
			全学 共通 科目	学部 等 共通 科目	専門 科目	合計		
人間学部	心理カウンセリング学科	夜・通信	32	2	44	78	13	
	人間福祉学科	夜・通信			91	125	13	
	子ども学科	夜・通信			71	105	13	
	児童教育学科	夜・通信			108	142	13	
社会学部	社会情報学科	夜・通信	32	2	44	78	13	
	メディア表現学科	夜・通信			72	106	13	
	地域社会学科	夜・通信			12	46	13	
メディア学部	メディア学科	夜・通信		0	62	94	13	
経営学部	経営学科	夜・通信		0	48	80	13	
外国語学部	英米語学科	夜・通信	12		13	57	13	
	中国語学科	夜・通信			0	44	13	
	韓国語学科	夜・通信			16	60	13	
	日本語・日本語教育学科	夜・通信			14	58	13	
保健医療学部	理学療法学科	夜・通信	12	13	63	88	13	
	作業療法学科	夜・通信			31	56	13	
	言語聴覚学科	夜・通信			61	86	13	

看護学部	看護学科	夜・通信		0	58	70	13	
<p>(備考) 心理学部心理カウンセリング学科は2020年度開設のため、当該資料には記載せず。なお、心理学部心理カウンセリング学科は人間学部心理カウンセリング学科を基礎とした学科であり、実務経験のある教員等の授業科目は省令で定める基準単位以上の確保をできる見込みである。</p>								

2. 「実務経験のある教員等による授業科目」の一覧表の公表方法

<https://www2.mejiro.ac.jp/syllabus2019/>

3. 要件を満たすことが困難である学部等

学部等名
(困難である理由)

様式第2号の2-①【(2)-①学外者である理事の複数配置】

※ 国立大学法人・独立行政法人国立高等専門学校機構・公立大学法人・学校法人・準学校法人は、この様式を用いること。これら以外の設置者は、様式第2号の2-②を用いること。

学校名	目白大学
設置者名	学校法人目白学園

1. 理事（役員）名簿の公表方法

<https://www.mejiro.ac.jp/gakuen/about/organization/>

2. 学外者である理事の一覧表

常勤・非常勤の別	前職又は現職	任期	担当する職務内容や期待する役割
非常勤	国立大学名誉教授	2018.4.1～ 2021.3.31	初等中等教育に造詣が深く、その知見を生かした本学園の運営に対するチェック及び指導。
非常勤	元株式会社 非常勤監査役	2018.4.1～ 2021.3.31	民間企業での経験を生かした本学園の運営に対するチェック及び指導。
(備考)			

様式第2号の3 【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】

学校名	目白大学
設置者名	学校法人目白学園

○厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表の概要

<p>1. 授業科目について、授業の方法及び内容、到達目標、成績評価の方法や基準その他の事項を記載した授業計画(シラバス)を作成し、公表していること。</p>	
<p>(授業計画書の作成・公表に係る取組の概要)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・授業計画(シラバス)作成過程 ⇒教務委員会で周知(12月)⇒各教員に作成依頼(1月本学教務ポータルサイトより入力) ⇒入力締切後、各学科長がシラバス内容を確認 ⇒修正指示&修正(～3月末)⇒本学教務ポータルサイト掲載⇒新年度4月本学ホームページにて公開 ・シラバス入力項目 担当者名、授業のねらい、学生の学習目標、授業内容(スケジュール) 授業の事前準備と事後学習、評価の方法と観点、試験・レポートの返却方法、学習成果、必須資料(教科書等)、参考資料。アクティブラーニングの導入、実務教員科目該当、ICTの導入、オフィスアワー 	
授業計画書の公表方法	https://www2.mejiro.ac.jp/syllabus2019/
<p>2. 学修意欲の把握、試験やレポート、卒業論文などの適切な方法により、学修成果を厳格かつ適正に評価して単位を与え、又は、履修を認定していること。</p>	
<p>(授業科目の学修成果の評価に係る取組の概要)</p> <p>本学は試験及び学習成績の評価に関する規程を定め、運用している。 なお、各科目の成績評価は、シラバスに示された評価方法に従いS・A・B・C・D・Nの6段階で評価する。S～C・Dが合格(単位認定)、Dが不合格(単位不認定)となる。 評価基準は以下の通り。</p> <ul style="list-style-type: none"> S=特に秀でた成績(総履修者数の概ね10%を限度とする) A=100点から80点まで B=79点から70点まで C=69点から60点まで D=59点以下 N=他大学で修得し本学が認定した科目、検定試験に合格し認定された科目等 	

<p>3. 成績評価において、GPA等の客観的な指標を設定し、公表するとともに、成績の分布状況の把握をはじめ、適切に実施していること。</p> <p>(客観的な指標の設定・公表及び成績評価の適切な実施に係る取組の概要)</p> <p>本学は、成績評定平均値（GPA）に関する規程を定め、運用している。算出方法は下記のとおり。</p> <p>成績 S : GP = 4、A : GP = 3、B : GP = 2、C : GP = 1、D : GP = 0</p> <p>GPA計算式 $\frac{\text{(当該学期に成績評価を受けた授業科目のGP} \times \text{当該科目の単位数) の合計}}{\text{当該学期に成績評価を受けた授業科目の総単位数}} = \text{学期のGPA}$</p> <p>別添資料 GPA分布状況（2018年度1年生 学科別）</p>	
<p>客観的な指標の算出方法の公表方法</p>	<p>GPAに関する規程及び算出方法は、学生へ配布する「学生便覧」に掲載し公表している。また、学生個人のGPAの学生への通知は、成績通知表に記載し、年度末に学生自宅へ郵送している。</p>
<p>4. 卒業の認定に関する方針を定め、公表するとともに、適切に実施していること。</p>	

<p>(卒業の認定方針の策定・公表・適切な実施に係る取組の概要)</p> <p>本学は、教育基本法等の法令並びに建学の精神「主・師・親」に基づき、国家・社会への献身的態度、真理探究の熱意、人間尊重の精神を体得し、創造的な知性と豊かな人間性及び応用的諸能力を備え、わが国の発展、国際社会の平和と福祉に貢献する主体性のある人材の育成を目的として、学生を「育てて送り出す」教育を実践する。</p> <p>また、本学は、本学学則、学位授与等の方針に関する規程を定め、学則及び規程に則り、在学年数、単位数等の卒業要件を満たし、以下の能力を身につけ、所属学科のディプロマ・ポリシー（学位授与の方針）に適合した学士課程を修了した学生に、学士の学位を授ける。</p> <p>①広く国や社会の在り方に目を向け、グローバルな視点からものごとを考え、課題解決に向けて行動することができる。</p> <p>②専攻する分野の基礎的知識や技能、技術を修得し、真理探究のために主体的に学ぶことができる。</p> <p>③豊かな人間性に根ざした教養とコミュニケーション能力を持ち、積極的に他者と協力してものごとに取り組むことができる。</p> <p>なお、卒業要件については、「学生便覧」に各学科の科目の内訳（共通科目、専門科目及び必修単位数、選択単位数、卒業要件単位数）を一覧表で示している。また、4年以上在学し卒業要件を満たした場合、教授会の議を経て卒業を認定し「学士」の学位を授与すると明記している。</p> <p>卒業査定手順は下記のとおりである。</p> <p>【3月卒業査定手順】</p> <p>①2月上旬 教務課より卒業年次生履修状況一覧を各学科に配布する。</p> <p>②2月下旬 教務課より各学科に卒業判定学科査定資料（成績資料、卒業要件未充足者資料）を配布する。</p> <p>③3月上旬 各学科より教務課に卒業判定査定結果を報告する。</p> <p>④教務課は卒業判定資料を作成する。</p> <p>⑤3月上旬 卒業判定教授会開催し審議のうえ、卒業者及び卒業延期者を確定する。</p> <p>⑥学生は卒業の可否を本学学生専用ポータルサイト（学生ネットサービス）にて確認する。卒業延期者には郵送にて通知する。</p> <p>【9月卒業査定手順】</p> <p>①8月中旬 教務課より卒業年次生履修状況一覧を各学科に配布する。</p> <p>②9月上旬 教務課より卒業判定査定資料（成績資料）を各学科に配布する。</p> <p>③9月上旬 各学科より教務課に卒業判定結果を報告する。</p> <p>④教務課は卒業判定資料を作成する。</p> <p>⑤9月中旬 卒業判定授会開催し審議のうえ、卒業者及び卒業延期者を確定する。</p> <p>⑥卒業可の場合、教務課より郵送にて学生に通知する。</p>	
卒業の認定に関する方針の公表方法	<p>学生に配布する「学生便覧」に大学学則、学位授与等の方針に関する規程を掲載し、公表している。また学位授与方針については、ホームページ上でも公表している。</p> <p>https://www.mejiro.ac.jp/univ/about/dp/</p>

様式第2号の4-①【(4)財務・経営情報の公表(大学・短期大学・高等専門学校)】

※大学・短期大学・高等専門学校は、この様式を用いること。専門学校は、様式第2号の4-②を用いること。

学校名	目白大学
設置者名	学校法人目白学園

1. 財務諸表等

財務諸表等	公表方法
貸借対照表	ホームページで公開 https://www.mejiro.ac.jp/gakuen/disclosure/?srid=sttlmnt
収支計算書又は損益計算書	ホームページで公開 https://www.mejiro.ac.jp/gakuen/disclosure/?srid=sttlmnt
財産目録	ホームページで公開 https://www.mejiro.ac.jp/gakuen/disclosure/?srid=sttlmnt
事業報告書	ホームページで公開 https://www.mejiro.ac.jp/gakuen/disclosure/?srid=sttlmnt
監事による監査報告(書)	ホームページで公開 https://www.mejiro.ac.jp/gakuen/disclosure/?srid=sttlmnt

2. 事業計画(任意記載事項)

単年度計画(名称:2019年度事業計画書 対象年度:令和元年度(2019年度))
公表方法: https://www.mejiro.ac.jp/gakuen/pdf/2019_business_plan.pdf
中長期計画(名称:学校法人目白学園第4次中期目標・中期計画 対象年度:令和元年度(2019年度)~令和4年度(2023年度))
公表方法: https://www.mejiro.ac.jp/gakuen/pdf/mt_plan_2019-2023.pdf

3. 教育活動に係る情報

(1) 自己点検・評価の結果

公表方法: https://www.mejiro.ac.jp/univ/about/evaluation/self_evaluation/

(2) 認証評価の結果(任意記載事項)

公表方法: https://www.mejiro.ac.jp/univ/about/evaluation/jiheer/

(3) 学校教育法施行規則第 172 条の 2 第 1 項に掲げる情報の概要

①教育研究上の目的、卒業の認定に関する方針、教育課程の編成及び実施に関する方針、入学者の受入れに関する方針の概要

学部等名 人間学部
教育研究上の目的 (公表方法 https://www.mejiro.ac.jp/univ/course/human/)
<p>(概要)</p> <p>本学人間学部は、人間尊重の精神を育てつつ、主として人間に関する知識と人間を支援するための技能を併せ持つ人材を育成することを目的としている。さらに、「生涯にわたる成長と発達」「生活と生き方」は人間学部の中心的テーマであり、こうした学びの中で自己を理解し、成長するための術と姿勢を身につけることこそが、人間学部の教育目標です。</p>
卒業の認定に関する方針 (公表方法: https://www.mejiro.ac.jp/univ/about/dp/)
<p>(概要)</p> <p>本学は、教育基本法等の法令並びに建学の精神「主・師・親」に基づき、国家・社会への献身的態度、真理探究の熱意、人間尊重の精神を体得し、創造的な知性と豊かな人間性及び応用的諸能力を備え、わが国の発展、国際社会の平和と福祉に貢献する主体性のある人材の育成を目的として、学生を「育てて送り出す」教育を実践する。</p> <p>本学は、在学年数、単位数等の卒業要件を満たし、本学共通の能力である、</p> <p>①広く国や社会の在り方に目を向け、グローバルな視点からものごとを考え、課題解決に向けて行動することができる。</p> <p>②専攻する分野の基礎的知識や技能、技術を修得し、真理探究のために主体的に学ぶことができる。</p> <p>③豊かな人間性に根ざした教養とコミュニケーション能力を持ち、積極的に他者と協力し、ものごとに取り組むことができる。</p> <p>以上を身につけ、以下の所属学科のディプロマ・ポリシー (学位授与の方針) に適合した学士課程の学生に、学士の学位を授ける。</p> <p><心理カウンセリング学科></p> <p>①人間の行動や心理過程について、基礎的な知識を身につけた上で、適切に評価することができる。</p> <p>②心理的課題に対して、カウンセリング・マインドで対応することができる。</p> <p>③心理学的観点から人間に深い関心を持ち続け、責任ある社会的行動をとることができる。</p> <p><人間福祉学科></p> <p>①人間の福祉について、基礎的な知識を身につけた上で、適切に評価することができる。</p> <p>②福祉に関わる課題に対して人間の尊厳と人権を大切にしつつ対応することができる。</p> <p>③社会福祉的観点から人間に深い関心を持ち続け、責任ある社会的行動をとることができる。</p> <p><子ども学科></p> <p>①子どもやその発達について、基礎的な知識を身につけた上で、適切に評価することができる。</p> <p>②子どもとその家族に関わる課題に対して、保育職としてのカウンセリング・マインドで対応することができる。</p> <p>③子ども学的観点から人間に深い関心を持ち続け、責任ある社会的行動をとることができる。</p> <p><児童教育学科></p> <p>①児童とその発達について、基礎的な知識を身につけた上で、適切に評価することができる。</p> <p>②児童とその教育に関わる課題に対して、臨床的技能で対応することができる。</p>

③児童教育学的観点から人間に深い関心を持ち続け、責任ある社会的行動をとることができる。

教育課程の編成及び実施に関する方針（公表方法：

<https://www.mejiro.ac.jp/univ/about/cp/>）

（概要）

本学共通の基本方針として

①建学の精神に則り、本学の教育方針である「育てて送り出す」の具現化をめざす教育課程を編成。

②知識基盤社会に生きる市民として必要な教養を養い、自ら思考し行動できる力を育てる教育課程を編成。

③学科ごとに定める学位授与の方針ならびに教育目標との整合性、一貫性のある教育課程を編成。

④専門的職業能力の修得を目的とする学科にあつては、専門知識および技術を獲得し、専門職者としての感性を磨き、現場で活用できる実践的能力を育成する教育課程を編成。

以上と、各学科でのカリキュラム・ポリシーを以下に定める。

本学人間学部は、本学の教育理念にもとづき、以下のような教育課程の編成と実施に取り組む

<心理カウンセリング学科>

①広く人間を理解し社会のさまざまな分野における対人関係の合理的かつ現実的な問題解決ができ、他者への援助能力を育成するカリキュラム編成。

②基幹科目で概論科目を学び、順次基礎心理学から応用心理学およびカウンセリング関連科目を配置し、心理学の基礎知識と応用および技能が結びつくよう科目の連携。

③1年次より基礎心理学科目および演習科目を学び、自ら考え学習する能力を養い、②年次以降将来の進路に合わせてコースを選択できるよう運用。

<人間福祉学科>

①人間の福祉と介護に関する基幹科目、人間性の理解、社会福祉制度・政策、福祉支援に関する知識と演習および実習を通じて、福祉社会に向けた研究および福祉実践能力を備えた人材を育成するカリキュラムを編成。

②社会福祉、精神保健福祉、介護福祉の専門分野間の連携を前提とした国家資格取得の講義科目を配置するとともに、臨床的実践教育の重要性を踏まえ、総合的で段階的な講義、演習、実習科目を配置。

③専門科目の相互理解を重視し資格取得の動機付けを促進するとともに、地域福祉、高齢福祉、障害福祉、子ども家庭福祉等の進路に係るキャリア形成で主体的な選択ができるように促す。

<子ども学科>

①福祉と教育のコラボレーションに基づいた子ども理解を教育研究の基本的な課題とし、保育と児童福祉に係わる実践的能力に優れた専門家を養成するカリキュラムを編成。

②1年次より実践的な能力を育成するために専門技術を学ぶ実技科目を導入し、さらに、保育と教育に関する科目や基礎技能に係わる科目で保育の本質および目的の理解を深めることのできる配置。

③福祉と教育の現場に応えるべく、実践的な科目を多く配置し人間関係、問題解決能力、表現力など、学生自身の人間性の涵養および行動の変容を図る。

<児童教育学科>

①児童の成長と発達ならびに障害を理解し、児童の健全な成長に必要な援助や教育ができる能力や技能を育成できるカリキュラムを編成。

<p>②基幹科目の下に、発達と支援、多文化共生、感性と表現、教育現場と実践、学校教育の5分野を置き、広い視野から総合的かつ臨床的な専門性を高めるカリキュラム編成。</p> <p>③5分野のコラボレーションを重視し、また実習および演習科目と有機的に関連させ、学習効果を高める運用。</p>
<p>入学者の受入れに関する方針（公表方法： https://www.mejiro.ac.jp/univ/about/ap/）</p>
<p>（概要）</p> <p>本学人間学部は、本学の教育理念にもとづき、求める学生像を下記に定める</p> <p><心理カウンセリング学科></p> <p>①人と社会に関心を持ち、人間行動について学ぶ意欲のある人。</p> <p>②人間や社会に対する好奇心・探究心を持ち、責任ある行動をとれる人。</p> <p>③人間の行動や心理について理解するために必要な基礎学力を備え、ものごとを柔軟に考えることができる人。</p> <p><人間福祉学科></p> <p>①社会の変化に目を向け、多様な人々の生活上の問題解決を主体的に学ぶ意欲のある人。</p> <p>②人の心とその痛みに共感することができ、積極的に社会に参加する姿勢を持っている人。</p> <p>③社会福祉の専門家へと成長するために必要な基礎学力を身につけている人。</p> <p><子ども学科></p> <p>①子どもの発達および環境に関心を持ち、福祉、教育について学ぶ意欲のある人。</p> <p>②社会の一員として責任ある行動と好ましい対人態度をとることのできる人。</p> <p>③子ども学の専門家へと成長するために必要な基礎学力を身につけている人。</p> <p><児童教育学科></p> <p>①児童教育に関心を持ち、さまざまな問題・課題の解決方法について学ぶ意欲のある人。</p> <p>②学校教育および社会教育に積極的に貢献したいと思っている人。</p> <p>③児童とその発達について、理解を深めるための基礎学力を身につけている人。</p>

<p>学部等名 社会学部</p>
<p>教育研究上の目的（公表方法 https://www.mejiro.ac.jp/univ/course/social/）</p>
<p>（概要）</p> <p>社会学部は、家族などの小さな集団から民族や国際社会といったマクロ集団まで、人の集団を研究対象とする学部であり、社会の流れとは人々の動向であり、情報によって制御される人々の行動意識・集団心理の推移であると考え、社会的存在である「人間」と「社会構造」に視点をあてて、変化の速い現代社会を読み解き、近未来を切り拓く人材を育む教育を行います。</p>
<p>卒業の認定に関する方針（公表方法：https://www.mejiro.ac.jp/univ/about/dp/）</p>
<p>（概要）</p> <p>本学は、教育基本法等の法令並びに建学の精神「主・師・親」に基づき、国家・社会への献身的態度、真理探究の熱意、人間尊重の精神を体得し、創造的な知性と豊かな人間性及び応用的諸能力を備え、わが国の発展、国際社会の平和と福祉に貢献する主体性のある人材の育成を目的として、学生を「育てて送り出す」教育を実践する。</p> <p>本学は、在学年数、単位数等の卒業要件を満たし、本学共通の能力である、</p> <p>①広く国や社会の在り方に目を向け、グローバルな視点からものごとを考え、課題解決に向けて行動することができる。</p> <p>②専攻する分野の基礎的知識や技能、技術を修得し、真理探究のために主体的に学ぶことができる。</p> <p>③豊かな人間性に根ざした教養とコミュニケーション能力を持ち、積極的に他者と協力してもものごとに取り組むことができる。</p>

以上を身につけ、以下の所属学科のディプロマ・ポリシー（学位授与の方針）に適合した学士課程の学生に、学士の学位を授ける。

＜社会情報学科＞

- ①社会に関する基礎的な知識を身につけ、情報化社会の諸問題を適切に評価することができる。
- ②社会のさまざまな問題解決にあたって、情報通信機器の活用と円滑なコミュニケーションによって対応することができる。
- ③学際的な観点から社会の諸問題への関心を持ち続け、社会の一員としての役割を自覚できている。

＜メディア表現学科＞

- ①社会に関する基礎的な知識を身につけ、メディアの観点から社会の諸問題について適切に評価することができる。
- ②社会のさまざまな問題解決にあたって、高度なコミュニケーション技術と効果的表現で対応することができる。
- ③メディアの特性や役割、影響に関心を持ち続け、社会に貢献することができる。

＜地域社会学科＞

- ①社会に関する基礎的な知識を身につけ、地域社会や現代社会のあり方について適切に評価することができる。
- ②社会のさまざまな問題解決にあたって、相手を理解し自己を表現することができるコミュニケーションスキルを身につけている。
- ③交流、共生、創造の視点から問題解決への意欲を持ち、社会に奉仕、貢献することができる。

教育課程の編成及び実施に関する方針（公表方法：
<https://www.mejiro.ac.jp/univ/about/cp/>）

（概要）

本学共通の基本方針として

- ①建学の精神に則り、本学の教育方針である「育てて送り出す」の具現化をめざす教育課程を編成。
 - ②知識基盤社会に生きる市民として必要な教養を養い、自ら思考し行動できる力を育てる教育課程を編成。
 - ③学科ごとに定める学位授与の方針ならびに教育目標との整合性、一貫性のある教育課程を編成。
 - ④専門的職業能力の修得を目的とする学科にあつては、専門知識および技術を獲得し、専門職者としての感性を磨き、現場で活用できる実践的能力を育成する教育課程を編成。
- 以上と、各学科でのカリキュラム・ポリシーを以下に定める。

本学社会学部は、本学の教育理念にもとづき、以下のような教育課程の編成と実施に取り組む

＜社会情報学科＞

- ①人間の心理と情報の相互作用で生起するさまざまな社会現象に対して、情報を切り口に考究できる学際的なカリキュラムを編成。
- ②基幹科目と社会学的手法を習得する実習科目の下に、心理、情報、社会マネジメントの
- ③要素を核にした6系列群からなるユニット制を配置。
- ④運用にあたっては、各ユニットを相互に関連させることで、補完的かつ有機的に諸科学を組み合わせた学習を促す。

＜メディア表現学科＞

- ①メディアを有効に活用するための基礎知識と基本技能を習得し、効果的なコミュニケーション能力と幅広いクリエイティブな能力を育成できるカリキュラムを編成。
- ②メディア論などの基幹科目を置き、学科の目的を的確に伝達するとともに、表現に関する

<p>る講義科目とそれに関する演習科目を機能的に結び、知識と技能等の連携を図れる領域横断的な科目配置。</p> <p>③専門教育科目に複数のフィールドを設定し、ゼミや将来の進路と連動させた学習を促す。 <地域社会学科></p> <p>①現場での観察や調査を繰り返しながら、フィールドワークの知識や技法を学び、世の中のさまざまな問題を発見し解決する能力と感性を涵養し、深い教養と高い見識を育成できるようにカリキュラムを編成。</p> <p>②フィールドワークの方法を学ぶ基幹科目から、地域社会学の基礎理論を学ぶ形成科目を経て、地域社会と現代社会の諸問題に学際的視点からアプローチする展開科目へとステップアップできるように専門教育科目を配置。</p> <p>③講義科目の履修と並行し、基礎、応用、創造の演習科目の履修を通して、実践から理論へとというフィードバック型カリキュラムの運用を図る。</p>
<p>入学者の受入れに関する方針（公表方法： https://www.mejiro.ac.jp/univ/about/ap/）</p>
<p>（概要） 本学社会学部は、本学の教育理念にもとづき、求める学生像を下記に定める <社会情報学科></p> <p>①さまざまな社会現象に対して、生活者の視点で課題を発見し、解決する能力を身につけたいと思っている人。</p> <p>②広い視野を持ち、的確な判断力と柔軟な思考力を身につけ、社会に貢献したいと思っている人。</p> <p>③社会を理解するための基本的な知識を身につけている人。</p> <p><メディア表現学科></p> <p>①新しいメディアに関心を持ち、優れたプレゼンテーション能力を身につけたいと思っている人。</p> <p>②バランスのとれたメディア表現力やコミュニケーション力を身につけ、社会に貢献したいと思っている人。</p> <p>③メディア表現の基礎となる「読む・聞く・書く・話す」などの知識や能力を身につけている人。</p> <p><地域社会学科></p> <p>①人々の営みや日々の出来事に関心を持ち、問題発見とその解決方法を学ぶ意欲のある人。</p> <p>②現場での体験を通して社会に積極的に関わり、社会に奉仕・貢献したいと思っている人。</p> <p>③地域社会や現代社会を理解するために必要な基礎知識を身につけている人。</p>

<p>学部等名 メディア学部</p>
<p>教育研究上の目的（公表方法 https://www.mejiro.ac.jp/univ/course/f_media/）</p>
<p>（概要） 本学メディア学部は、情報化が進む現代社会において、新聞、テレビ、雑誌、インターネット、スマートフォンなど、さまざまな情報メディアが私たちの生活に密接に係っている現代において、効果的なコミュニケーション手法やコンテンツ制作技術を学び、メディアを駆使した表現を追求するとともに、社会の中でのメディアの役割、心理的影響などを探究する。</p>
<p>卒業の認定に関する方針（公表方法：https://www.mejiro.ac.jp/univ/about/dp/）</p>
<p>（概要） 本学は、教育基本法等の法令並びに建学の精神「主・師・親」に基づき、国家・社会への献身的態度、真理探究の熱意、人間尊重の精神を体得し、創造的な知性と豊かな人間性及び応用的諸能力を備え、わが国の発展、国際社会の平和と福祉に貢献する主体性のある人材の育成を目的として、学生を「育てて送り出す」教育を実践する。 本学は、在学年数、単位数等の卒業要件を満たし、本学共通の能力である、</p>

- ①広く国や社会の在り方に目を向け、グローバルな視点からものごとを考え、課題解決に向けて行動することができる。
 - ②専攻する分野の基礎的知識や技能、技術を修得し、真理探究のために主体的に学ぶことができる。
 - ③豊かな人間性に根ざした教養とコミュニケーション能力を持ち、積極的に他者と協力してものごとに取り組むことができる。
- 以上を身につけ、以下の所属学科のディプロマ・ポリシー（学位授与の方針）に適合した学士課程の学生に、学士の学位を授ける。

<メディア学科>

- ①メディアを批判的・主体的に読み解く能力を身につけた上で、社会の諸問題について適切に評価し、解決に向けて努力することができる。
- ②メディアの機能や影響を理解した上で、適切な調査・表現・コミュニケーションを社会との関わりにおいて実践することができる。
- ③メディアの役割に関心を持ち続け、社会に貢献することができる。

教育課程の編成及び実施に関する方針（公表方法：

<https://www.mejiro.ac.jp/univ/about/cp/>）

（概要）

本学共通の基本方針として

- ①建学の精神に則り、本学の教育方針である「育てて送り出す」の具現化をめざす教育課程を編成。
 - ②知識基盤社会に生きる市民として必要な教養を養い、自ら思考し行動できる力を育てる教育課程を編成。
 - ③学科ごとに定める学位授与の方針ならびに教育目標との整合性、一貫性のある教育課程を編成。
 - ④専門的職業能力の修得を目的とする学科にあつては、専門知識および技術を獲得し、専門職者としての感性を磨き、現場で活用できる実践的能力を育成する教育課程を編成。
- 以上と、各学科でのカリキュラム・ポリシーを以下に定める。

本学メディア学部は、本学の教育理念にもとづき、以下のような教育課程の編成と実施に取り組む

<メディア学科>

- ①メディア学の視点で社会や人間とメディアの関わりを理解すると同時に、メディアの未来を創造することのできる思考力・実践力を涵養するカリキュラム編成とする。
- ②メディアの役割や機能を理解するための講義科目と、メディアを効果的に活用しながら専門性を高める演習科目を、順次的かつ体系的に学修させるカリキュラム編成とする。
- ③大学外の各種団体・組織等とも連携しながら、将来の進路を見据えた実践的な学びを促すカリキュラム編成とする。

入学者の受入れに関する方針（公表方法：<https://www.mejiro.ac.jp/univ/about/ap/>）

（概要）

本学メディア学部は、本学の教育理念にもとづき、求める学生像を下記に定める

<メディア学科>

- ①メディアに対する関心を持ち、社会の中でのメディアの役割を学びたいと思っている人。
- ②メディアを活用した高度で実践的な表現力・コミュニケーション能力を身につけ、社会に貢献したいと思っている人。
- ③「読む・聞く・書く・話す」をはじめとする、メディア活用に必要な基礎的能力を身につけている人。

学部等名 経営学部
教育研究上の目的 (公表方法 https://www.mejiro.ac.jp/univ/course/business/)
<p>(概要)</p> <p>本学経営学部では、マネジメントの仕組みや知識が複雑かつ専門化している現在の経済社会で、IT の発展に伴う基礎的な情報処理能力、グローバル化に対応するための会計の実践的スキルなど、21 世紀の経済社会を推進していく原動力となるためにジェネラリストとしての幅広い知識を持った人材の育成を目指します。</p>
卒業の認定に関する方針 (公表方法: https://www.mejiro.ac.jp/univ/about/dp/)
<p>(概要)</p> <p>本学は、教育基本法等の法令並びに建学の精神「主・師・親」に基づき、国家・社会への献身的態度、真理探究の熱意、人間尊重の精神を体得し、創造的な知性と豊かな人間性及び応用的諸能力を備え、わが国の発展、国際社会の平和と福祉に貢献する主体性のある人材の育成を目的として、学生を「育てて送り出す」教育を実践する。</p> <p>本学は、在学年数、単位数等の卒業要件を満たし、本学共通の能力である、</p> <p>①広く国や社会の在り方に目を向け、グローバルな視点からものごとを考え、課題解決に向けて行動することができる。</p> <p>②専攻する分野の基礎的知識や技能、技術を修得し、真理探究のために主体的に学ぶことができる。</p> <p>③豊かな人間性に根ざした教養とコミュニケーション能力を持ち、積極的に他者と協力してものごとに取り組むことができる。</p> <p>以上を身につけ、以下のディプロマ・ポリシー (学位授与の方針) に適合した学士課程の学生に、学士の学位を授ける。</p> <p><経営学科></p> <p>①実務・実践重視型の手法を踏まえつつ、経営について基礎的な知識を身につけ、企業経営を適切に評価することができる。</p> <p>②経営上の課題に対して、実践的に対応することができる。</p> <p>③経営に対する関心を持ち続け、責任ある社会的行動をとることができる。</p>
教育課程の編成及び実施に関する方針 (公表方法: https://www.mejiro.ac.jp/univ/about/cp/)
<p>(概要)</p> <p>本学共通の基本方針として</p> <p>①建学の精神に則り、本学の教育方針である「育てて送り出す」の具現化をめざす教育課程を編成。</p> <p>②知識基盤社会に生きる市民として必要な教養を養い、自ら思考し行動できる力を育てる教育課程を編成。</p> <p>③学科ごとに定める学位授与の方針ならびに教育目標との整合性、一貫性のある教育課程を編成。</p> <p>④専門的職業能力の修得を目的とする学科にあっては、専門知識および技術を獲得し、専門職者としての感性を磨き、現場で活用できる実践的能力を育成する教育課程を編成。</p> <p>以上と、各学科でのカリキュラム・ポリシーを以下に定める。</p> <p>本学経営学部は、本学の教育理念にもとづき、以下のような教育課程の編成と実施に取り組む</p> <p><経営学科></p> <p>①企業経営に関する知識を身につけ、複雑化する現代経済社会で解決を要する経営問題を数量的および実証的に分析し、的確に判断して意思決定できる能力を育成するカリキュラムを編成。</p> <p>②経営学概論等の基幹科目から、専門コースごとの学びを深めるために会計学、経営管理、</p>

<p>マーケティング、ホスピタリティ・マネジメントの4分野の専門教育科目と専門共通科目、およびゼミを配置。</p> <p>③学生の興味と関心、および将来の進路希望に合った専門コースを選択させ、ゼミを中心とする個別指導の充実を図る。</p>
<p>入学者の受入れに関する方針 (公表方法:https://www.mejiro.ac.jp/univ/about/ap/)</p>
<p>(概要)</p> <p>本学経営学部は、本学の教育理念にもとづき、求める学生像を下記に定める</p> <p><経営学科></p> <p>①社会科学の一分野としての経営学に関心をもち、経営の理論と技法を学ぶ意欲のある人。</p> <p>②高い倫理観の下で、組織の一員として責任のある行動をとり、自己の能力を開発できる人。</p> <p>③経営学を学ぶ上で、社会や経済を理解するために必要な基礎学力を身につけている人。</p>

<p>学部等名 外国語学部</p>
<p>教育研究上の目的 (公表方法 https://www.mejiro.ac.jp/univ/course/foreign/)</p>
<p>(概要)</p> <p>地球規模でつながる人と情報のネットワークが形成され、さらに強化、拡大している現代において、海外との交流が活発化し、発生する諸問題に対処する人材を育てることは、大きな課題となっている。本学外国語学部では、従来の教養としての外国語力だけでなく、実際に通用する外国語能力の習得を第一に目指し、国際感覚を身につけるために、国際関係や危機管理なども学ぶ。</p>
<p>卒業の認定に関する方針 (公表方法: https://www.mejiro.ac.jp/univ/about/dp/)</p>
<p>(概要)</p> <p>本学は、教育基本法等の法令並びに建学の精神「主・師・親」に基づき、国家・社会への献身的態度、真理探究の熱意、人間尊重の精神を体得し、創造的な知性と豊かな人間性及び応用的諸能力を備え、わが国の発展、国際社会の平和と福祉に貢献する主体性のある人材の育成を目的として、学生を「育てて送り出す」教育を実践する。</p> <p>本学は、在学年数、単位数等の卒業要件を満たし、本学共通の能力である、</p> <p>①広く国や社会の在り方に目を向け、グローバルな視点からものごとを考え、課題解決に向けて行動することができる。</p> <p>②専攻する分野の基礎的知識や技能、技術を修得し、真理探究のために主体的に学ぶことができる。</p> <p>③豊かな人間性に根ざした教養とコミュニケーション能力を持ち、積極的に他者と協力してものごとに取り組むことができる。</p> <p>以上を身につけ、以下の所属学科のディプロマ・ポリシー (学位授与の方針) に適合した学士課程の学生に、学士の学位を授ける。</p> <p><英米語学科></p> <p>①英米語と英米文化について基礎的な知識を身につけ、国際的な視点に立って考えることができる。</p> <p>②英語で自らの考えを表現できるとともに、世界の人々と交流することができる。</p> <p>③英米文化の観点から世界に深い関心を持ち続け、責任ある社会的行動をとることができる。</p> <p><中国語学科></p> <p>①中国語と中国文化について基礎的な知識を身につけ、国際的な視点に立って考えることができる。</p> <p>②中国語で自らの考えを表現できるとともに、世界の人々と交流することができる。</p>

③中国文化の観点から世界に深い関心を持ち続け、責任ある社会的行動をとることができる。

<韓国語学科>

①韓国語と韓国文化について基礎的な知識を身につけ、国際的な観点に立って考えることができる。

②韓国語で自らの考えを表現できるとともに、世界の人々と交流することができる。

③韓国文化の観点から世界に深い関心を持ち続け、責任ある社会的行動をとることができる。

<日本語・日本語教育学科>

①日本語と日本文化について基礎的な知識を身につけ、国際的な視点に立って考えることができる。

②話す、書く、聞く、読むについて適切な日本語表現ができる。

③日本語および日本文化を基盤に世界に深い関心を持ち続け、責任ある社会的行動をとることができる。

教育課程の編成及び実施に関する方針（公表方法：

<https://www.mejiro.ac.jp/univ/about/cp/>）

（概要）

本学共通の基本方針として

①建学の精神に則り、本学の教育方針である「育てて送り出す」の具現化をめざす教育課程を編成。

②知識基盤社会に生きる市民として必要な教養を養い、自ら思考し行動できる力を育てる教育課程を編成。

③学科ごとに定める学位授与の方針ならびに教育目標との整合性、一貫性のある教育課程を編成。

④専門的職業能力の修得を目的とする学科にあつては、専門知識および技術を獲得し、専門職者としての感性を磨き、現場で活用できる実践的能力を育成する教育課程を編成。

以上と、各学科でのカリキュラム・ポリシーを以下に定める。

本学外国語学部は、本学の教育理念にもとづき、以下のような教育課程の編成と実施に取り組む

<英米語学科>

①英語の基本的技能を身につけ、イギリス及びアメリカの事情について基礎的なまた幅広い知識を習得し、英語を駆使しながら国際的視点に立って考えることができる人材育成を可能とするカリキュラムを編成。

②英語の技能の向上、言語理論の理解、比較文化、国際関係、英米の事情研究、さらに半年間の英語圏への留学を施行することで、総合的に英語の習得を目指す科目構成。

③1、2年次において英語の技能の集中的訓練を行い、3年次以降において実用英語を中心とした英語の高度な実践的能力の育成を目指し、また文化、歴史、社会など英米事情に関する知識と理解の増進を図る。

<中国語学科>

①実用的な中国語の能力を身につけ、中国事情について基礎的な幅広い知識を習得し、さらに国際的な視点に立って考えることができる人材を育成するカリキュラムを編成。

②段階的に習得できる中国語の科目、中国について幅広く学べる中国事情の科目、現地において言語と生活文化を習得する臨地研修を設け、国際的観点の練成のため言語理論、国際社会認識、多文化理解、危機管理の科目群を配す。

③1、2年次においては十分な中国語の基礎力を育成したうえで、3年次以降において中級上級の中国語の実践的能力の育成を目指し、また文化、歴史、社会など中国事情に関する知識と理解の増進を図る。

<p><韓国語学科></p> <p>①実用的な韓国語能力を身につけ、韓国事情について基礎的な幅広い知識を習得しながら、国際的な視点に立って考えることができる人材を育成するカリキュラムを編成。</p> <p>②幅広く習得、活用できる韓国の言語、現地言語と生活文化を習得する韓国事情と臨地研修を設け、専門の知識や理解を向上するセミナーおよび卒業研究の区分を配す。</p> <p>③1年次において十分な韓国語の基礎力を育成したうえで、2年次以降は、単位互換制度に基づく交換留学を実施し、帰国後、3、4年次において高度な韓国語能力の育成と韓国事情の知識と理解の増進を図る。</p> <p><日本語・日本語教育学科></p> <p>①国際語の一つとしての日本語に習熟し、日本文化の特質を他文化と比較し、国際的な視点に立って考えることができる人材を育成するカリキュラムを編成。</p> <p>②日本の基層文化への認識を深め、優れた教養人を育成することにより、国際的観点による練成により異なる文化を持つ人々を教えられる日本語教員や、学校教育の場での国語科教員を養成する多様な科目群を配置。</p> <p>③1年次において、日本語、日本語教育、社会・文化・地域の3分野について十分な基礎力を育成したうえで、2年次以降、段階的により高度な専門的および実践的能力の育成と知識と理解の増進を図る。</p>
入学者の受入れに関する方針(公表方法: https://www.mejiro.ac.jp/univ/about/ap/)
(概要) 本学外国語学部は、本学の教育理念にもとづき、求める学生像を下記に定める
<英米語学科>
①英米語や英米文化に強い関心を抱き、英語の学習を通して広い視野を身につけたいと思っている人。
②英米語や英米文化に関する知識と英語の確かな運用能力を身につけて、社会に貢献したいと思っている人。
③英米語や英米文化の大学での学習に必要な基礎学力を身につけている人。
<中国語学科>
①中国語と中国文化さらには世界について広く学ぶ意欲のある人。
②事実に基づいてものごとを観察し、自分で判断しようとする人。
③中国語と中国文化を学ぶために必要となる基礎学力を身につけている人。
<韓国語学科>
①韓国語や韓国文化に対して興味を持ち、主体的に専門的な知識を学ぶ意欲のある人。
②国際的な視点に立ち、日韓両国の文化を理解しようとする人。
③韓国語や韓国文化を専門的に学習するために必要な基本知識を身につけている人。
<日本語・日本語教育学科>
①国際語としての日本語に興味・関心を持ち、学ぶ意欲のある人。
②さまざまな世界文化に興味を持ち、それを自己向上に活かそうとする人。
③社会を理解するために必要な知識とマナーを身につけている人。

学部等名 保健医療学部
教育研究上の目的 (公表方法 https://www.mejiro.ac.jp/univ/course/health/)

<p>(概要)</p> <p>保健医療学部は、理学療法学、作業療法学、言語聴覚障害学に関する教育と研究を行い、国家資格を取得してリハビリテーション分野で活躍する人材を育てることを目的としています。基礎教育と専門分野の教育を丁寧に進め、とくに臨床指導に重点をおくことにより、リハビリテーション分野の発展に寄与できる知識・技能・態度において優れた専門家の育成を目指す。</p>
<p>卒業の認定に関する方針（公表方法：https://www.mejiro.ac.jp/univ/about/dp/）</p>
<p>(概要)</p> <p>本学は、教育基本法等の法令並びに建学の精神「主・師・親」に基づき、国家・社会への献身的態度、真理探究の熱意、人間尊重の精神を体得し、創造的な知性と豊かな人間性及び応用的諸能力を備え、わが国の発展、国際社会の平和と福祉に貢献する主体性のある人材の育成を目的として、学生を「育てて送り出す」教育を実践する。</p> <p>本学は、在学年数、単位数等の卒業要件を満たし、本学共通の能力である、</p> <p>①広く国や社会の在り方に目を向け、グローバルな視点からものごとを考え、課題解決に向けて行動することができる。</p> <p>②専攻する分野の基礎的知識や技能、技術を修得し、真理探究のために主体的に学ぶことができる。</p> <p>③豊かな人間性に根ざした教養とコミュニケーション能力を持ち、積極的に他者と協力してものごとに取り組むことができる。</p> <p>以上を身につけ、学科のディプロマ・ポリシー（学位授与の方針）に適合した学士課程の学生に、学士の学位を授ける。</p> <p><理学療法学科></p> <p>①理学療法に関する専門知識を身につけ、対象者の身体状態等を総合的に評価することができる。</p> <p>②対象者に応じて、基本的な理学療法を説明し、実施することができる。</p> <p>③専門職業人としての使命感を持ち、理学療法について自己研鑽を継続し、責任ある社会的行動をとることができる。</p> <p><作業療法学科></p> <p>①作業療法に関する専門知識を身につけ、対象者の心身状態等を総合的に評価することができる。</p> <p>②対象者に応じて、基本的な作業療法を説明し、実施することができる。</p> <p>③専門職業人としての使命感を持ち、作業療法について自己研鑽を継続し、責任ある社会的行動をとることができる。</p> <p><言語聴覚学科></p> <p>①言語聴覚療法に関する専門知識を身につけ、対象者の言語と心身状態等を総合的に評価することができる。</p> <p>②対象者に応じて、基本的な言語聴覚療法を説明し、実施することができる。</p> <p>③専門職業人としての使命感を持ち、言語聴覚療法について自己研鑽を継続し、責任ある社会的行動をとることができる。</p>
<p>教育課程の編成及び実施に関する方針（公表方法：https://www.mejiro.ac.jp/univ/about/cp/）</p>
<p>(概要)</p> <p>本学共通の基本方針として</p> <p>①建学の精神に則り、本学の教育方針である「育てて送り出す」の具現化をめざす教育課程を編成。</p> <p>②知識基盤社会に生きる市民として必要な教養を養い、自ら思考し行動できる力を育てる教育課程を編成。</p> <p>③学科ごとに定める学位授与の方針ならびに教育目標との整合性、一貫性のある教育課程</p>

を編成。

④専門的職業能力の修得を目的とする学科にあつては、専門知識および技術を獲得し、専門職者としての感性を磨き、現場で活用できる実践的能力を育成する教育課程を編成。以上と、各学科でのカリキュラム・ポリシーを以下に定める。

本学保健医療学部は、本学の教育理念にもとづき、以下のような教育課程の編成と実施に取り組む

<理学療法学科>

①医学、健康に関する基礎知識と理学療法全般に関する専門的知識、技術を習得するとともに、研究能力を身につけ、地域医療の発展に貢献できる人材を育成するカリキュラムを編成。

②地域をキーワードとした教育、研究、臨床を重視し、臨床教育の重要性を踏まえ、①年次からの段階的系統的な臨床実習、医療関連職種との連携構築のための専門教育科目を配置。

③医療人としての資質、知識、技術を高め、問題解決能力を習得するために、順次性を配慮した体系的な学習を促すよう運用。

<作業療法学科>

①医学、健康に関する基礎知識と作業療法全般に関する専門的知識、技術を習得するとともに、研究能力を身につけ、地域医療の発展に貢献できる人材を育成するカリキュラムを編成。

②地域をキーワードとした教育、研究、臨床を重視し、臨床教育の重要性を踏まえ、①年次からの段階的系統的な臨床実習、医療関連職種との連携構築のための専門教育科目を配置。

③作業療法は小児から高齢者、身体障害から精神障害者までを対象とするので、柔軟な問題解決能力を養成するため、順次性を配慮した体系的な学習を促すよう運用。

<言語聴覚学科>

①医学、健康に関する基礎知識と言語聴覚療法全般に関する専門的知識、技術を習得するとともに、研究能力を身につけ、地域医療の発展に貢献できる人材を育成するカリキュラムを編成。

②地域をキーワードとした教育、研究、臨床を重視し、臨床教育の重要性を踏まえた臨床実習、医療関連職種との連携構築のための専門教育科目を配置。

③医療人としての資質、知識、技術を高め、問題解決能力を習得するために、順次性を配慮した体系的な学習を促すよう運用。

入学者の受入れに関する方針(公表方法:<https://www.mejiro.ac.jp/univ/about/ap/>)

(概要)

本学保健医療学部は、本学の教育理念にもとづき、求める学生像を下記に定める

<理学療法学科>

①理学療法に関心を持ち、専門的知識、技術を学ぶ意欲のある人。

②豊かな社会性を持ち、自己の向上のために努力できる柔軟性を持っている人。

③理学療法の専門家へと成長するために必要な基礎学力を身につけている人。

<作業療法学科>

①作業療法に関心を持ち、専門的知識、技術を学ぶ意欲のある人。

②豊かな社会性を持ち、自己の向上のために努力できる柔軟性を持っている人。

③作業療法の専門家へと成長するために必要な基礎学力を身につけている人。

<言語聴覚学科>

①言語聴覚療法に興味を持ち、専門的知識、技術を学ぶ意欲のある人。

②豊かな社会性を持ち、自己の向上のために努力できる柔軟性を持っている人。

③言語聴覚療法の専門家へと成長するために必要な基礎学力を身につけている人。

学部等名 看護学部
教育研究上の目的 (公表方法 https://www.mejiro.ac.jp/univ/course/nursing/)
<p>(概要)</p> <p>本学看護学部では、看護に必要な専門的知識・技術と態度を身につけ、実践力のある看護師、保健師の養成を目指し、変革する社会に対応しうる人間性豊かな感性を兼ねそなえた人材を育成する。</p>
卒業の認定に関する方針 (公表方法 : https://www.mejiro.ac.jp/univ/about/dp/)
<p>(概要)</p> <p>本学は、教育基本法等の法令並びに建学の精神「主・師・親」に基づき、国家・社会への献身的態度、真理探究の熱意、人間尊重の精神を体得し、創造的な知性と豊かな人間性及び応用的諸能力を備え、わが国の発展、国際社会の平和と福祉に貢献する主体性のある人材の育成を目的として、学生を「育てて送り出す」教育を実践する。</p> <p>本学は、在学年数、単位数等の卒業要件を満たし、本学共通の能力である、</p> <p>①広く国や社会の在り方に目を向け、グローバルな視点からものごとを考え、課題解決に向けて行動することができる。</p> <p>②専攻する分野の基礎的知識や技能、技術を修得し、真理探究のために主体的に学ぶことができる。</p> <p>③豊かな人間性に根ざした教養とコミュニケーション能力を持ち、積極的に他者と協力してものごとに取り組むことができる。</p> <p>以上を身につけ、以下のディプロマ・ポリシー (学位授与の方針) に適合した学士課程の学生に、学士の学位を授ける。</p> <p><看護学科></p> <p>①看護学に関する専門知識を身につけ、対象者の心身状態と生活状況等を総合的に評価することができる。</p> <p>②対象者に応じて、基本的な看護を説明し、実施することができる。</p> <p>③専門職業人としての使命感を持ち、看護学について自己研鑽を継続し、責任ある社会的行動をとることができる。</p>
教育課程の編成及び実施に関する方針 (公表方法 : https://www.mejiro.ac.jp/univ/about/cp/)
<p>(概要)</p> <p>本学共通の基本方針として</p> <p>①建学の精神に則り、本学の教育方針である「育てて送り出す」の具現化をめざす教育課程を編成。</p> <p>②知識基盤社会に生きる市民として必要な教養を養い、自ら思考し行動できる力を育てる教育課程を編成。</p> <p>③学科ごとに定める学位授与の方針ならびに教育目標との整合性、一貫性のある教育課程を編成。</p> <p>④専門的職業能力の修得を目的とする学科にあつては、専門知識および技術を獲得し、専門職者としての感性を磨き、現場で活用できる実践的能力を育成する教育課程を編成。</p> <p>以上と、各学科でのカリキュラム・ポリシーを以下に定める。</p> <p>本学看護学部は、本学の教育理念にもとづき、以下のような教育課程の編成と実施に取り組む</p> <p><看護学科></p> <p>①人間性豊かな感性と専門的実践力を培い、多様な健康ニーズや社会に柔軟に対応できる問題解決能力をもち、地域医療に貢献できる看護師および保健師を育成するカリキュラム</p>

を編成。

②人間理解、社会制度および生活者の健康の総合的理解、人間の成長発達と生活の場の理解、看護の実践に必要な知識、技術、態度の習得、看護の将来的発展と統合のための科目群を配置。

③学生の幅広いニーズと自主性を尊重し、人間力を培う基礎教育科目の選択の機会を拡大し、臨地実習での実践を重要視した運用を図る。

入学者の受入れに関する方針(公表方法:<https://www.mejiro.ac.jp/univ/about/ap/>)

(概要)

本学看護学部は、本学の教育理念にもとづき、求める学生像を下記に定める

<看護学科>

①人間に関心を持ち、看護への探究心を持っている人。

②多様な価値観を受け入れる柔軟性と、社会性を持っている人。

③看護の専門家へと成長するために必要な基礎学力を身につけている人。

②教育研究上の基本組織に関すること

公表方法:https://www.mejiro.ac.jp/gakuen/about/organization/#tab_content_012

③教員組織、教員の数並びに各教員が有する学位及び業績に関すること

a. 教員数（本務者）							
学部等の組織の名称	学長・副学長	教授	准教授	講師	助教	助手 その他	計
—	3人	—					3人
人間学部	—	24人	17人	21人	16人	6人	84人
社会学部	—	13人	4人	10人	0人	5人	32人
メディア学部	—	7人	7人	3人	2人	1人	20人
経営学部	—	11人	1人	2人	0人	0人	14人
外国語学部	—	17人	8人	14人	0人	3人	42人
保健医療学部	—	20人	11人	11人	8人	1人	51人
看護学部	—	12人	6人	9人	11人	1人	39人
b. 教員数（兼務者）							
学長・副学長		学長・副学長以外の教員					計
0人		294人					294人
各教員の有する学位及び業績 (教員データベース等)		公表方法: https://www.mejiro.ac.jp/univ/course/professor_list/					
c. FD（ファカルティ・ディベロップメント）の状況（任意記載事項）							
<p>本学では、授業内容・方法を改善と向上を目的とした全教員対象の全学FD研修と各学部・学科でのFD研修を行なっている。全学でのFD研修は毎年定期的に年2回実施し、2018年度は9月と12月に実施した。9月はコンプライアンス教育、教育倫理教育についての講演会、12月はアカデミックハラスメントに関する研修を行った。なお、12月に関しては、教員のみではなく、職員も対象とした。</p> <p>また、学内にFD実施委員会（委員長は副学長）を設置し、各学部及び学科毎にもFDを実施しており、教育活動の充実、キャリア教育、進路指導など、幅広いテーマでFDを行なっている。</p> <p>さらに、学長、副学長、学部長、学科長、事務局各部長等を対象としたFD研修も年1回行い、平成30年度は大学教育の質保証をテーマに研修を実施した。</p>							

④入学者の数、収容定員及び在学する学生の数、卒業又は修了した者の数並びに進学者数及び就職者数その他進学及び就職等の状況に関すること

a. 入学者の数、収容定員、在学する学生の数等								
学部等名	入学定員 (a)	入学者数 (b)	b/a	収容定員 (c)	在学生数 (d)	d/c	編入学 定員	編入学 者数
人間学部	410人	427人	104.1%	1720人	1642人	95.5%	30人	2人
社会学部	200人	204人	102.0%	1060人	1088人	102.6%	10人	2人
メディア学部	140人	142人	101.4%	280人	284人	101.4%	0人	0人
経営学部	130人	124人	95.4%	520人	484人	93.1%	5人	0人
外国語学部	220人	208人	94.5%	890人	928人	104.3%	5人	3人
保健医療学部	185人	174人	94.1%	735人	720人	98.0%	0人	0人
看護学部	105人	122人	116.2%	415人	452人	109.0%	0人	0人
合計	1390人	1401人	100.8%	5620人	5598人	99.6%	50人	7人
(備考)								
<p>※2019年5月17日(金)に回答した学校基本調査では、外国語学部の編入学者数は2名。ただし、当該申請書では、学校基本調査において、数値の計上のない「学士編入学(大学から大学への編入学)」が1名いるため、3名で算出(中国の大学卒業→本学日本語・日本語教育学科3年次編入)</p>								

b. 卒業生数、進学者数、就職者数				
学部等名	卒業生数	進学者数	就職者数 (自営業を含む。)	その他
人間学部	366人 (100%)	5人 (1.4%)	306人 (83.6%)	55人 (15.0%)
社会学部	296人 (100%)	0人 (0%)	240人 (81.1%)	56人 (18.9%)
メディア学部	0人 (100%)	0人 (%)	0人 (%)	0人 (%)
経営学部	99人 (100%)	0人 (0%)	82人 (82.8%)	17人 (17.2%)
外国語学部	181人 (100%)	0人 (0%)	131人 (72.4%)	50人 (27.6%)
保健医療学部	162人 (100%)	0人 (0%)	139人 (85.8%)	23人 (14.2%)
看護学部	103人 (100%)	2人 (1.9%)	97人 (94.2%)	4人 (3.9%)
合計	1207人 (100%)	7人 (0.6%)	995人 (82.4%)	205人 (17.0%)
(主な進学先・就職先) (任意記載事項)				
人間学部は市区町村などの自治体、医療機関や福祉施設、小学校教諭。社会学部、経営学部、外国語学部は一般企業が大多数であり、保健医療学部、看護学部は病院、福祉施設など、それぞれの学びに合わせた就職先となっている。				
(備考)				
メディア学部は2018年度開設のため該当者なし				

c. 修業年限期間内に卒業する学生の割合、留年者数、中途退学者数（任意記載事項）					
学部等名	入学者数	修業年限期間内 卒業者数	留年者数	中途退学者数	その他
人間学部	431人 (100%)	352人 (81.7%)	31人 (7.2%)	47人 (10.9%)	0人 (0%)
社会学部	340人 (100%)	281人 (82.6%)	24人 (7.1%)	35人 (10.3%)	0人 (0.0%)
メディア学部	0人 (100%)	0人 (%)	0人 (%)	0人 (%)	0人 (0.0%)
経営学部	150人 (100%)	93人 (62.0%)	10人 (6.7%)	47人 (31.3%)	0人 (0.0%)
外国語学部	217人 (100%)	163人 (75.1%)	20人 (9.2%)	34人 (15.7%)	0人 (0.0%)
保健医療学部	196人 (100%)	137人 (69.9%)	31人 (15.8%)	28人 (14.3%)	0人 (0%)
看護学部	111人 (100%)	97人 (87.4%)	4人 (3.6%)	10人 (9.0%)	0人 (0%)
合計	1445人 (100%)	1123人 (77.7%)	120人 (8.3%)	201人 (13.9%)	0人 (0.0%)
(備考) ・人間学部から社会学部へ転学部した学生1名については転部先で計上している ・メディア学部は2018年度開設のため、該当者なし ・経営学部において、中途退学者数が多い理由として、3年に進級する際に必要な単位数を修得できず、その時点で留年が確定することがあげられる					

⑤ 授業科目、授業の方法及び内容並びに年間の授業の計画に関すること

<p>(概要)</p> <p>【様式第2号の3より再掲】 (授業計画の作成・公表に係る取組の概要)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・授業計画（シラバス）作成過程 ⇒教務委員会で周知（12月）⇒各教員に作成依頼（1月Web入力） ⇒入力締切後、各学科長がシラバス内容を確認 ⇒修正指示&修正（～3月末）⇒Web掲載⇒新年度4月HPにて公開 ・シラバス入力項目 担当者名、授業のねらい、学生の学習目標、授業内容（スケジュール） 授業の事前準備と事後学習、評価の方法と観点、試験・レポートの返却方法、学習成果、必須資料（教科書等）、参考資料。アクティブラーニングの導入、実務教員科目該当、ICTの導入、オフィスアワー
--

⑥ 学修の成果に係る評価及び卒業又は修了の認定に当たっての基準に関すること

<p>(概要)</p> <p>【様式第2号の3より再掲】 成績評価は、シラバスに示された評価方法に従いS・A・B・C・D・Nの6段階で評価する。S～C・Dが合格（単位認定）、Dが不合格（単位不認定）となる。評価基準は以下の通り。</p> <p>S = 特に秀でた成績（総履修者数の概ね10%を限度とする）</p>
--

A=100点から80点まで B=79点から70点まで C=69点から60点まで D=59点以下 N=他大学で修得し本学が認定した科目、検定試験に合格し認定された科目等				
学部名	学科名	卒業に必要となる 単位数	GPA制度の採用 (任意記載事項)	履修単位の登録上限 (任意記載事項)
人間学部	心理カウンセリング学科	124 単位		1 学期 24 単位
	人間福祉学科	124 単位		1 学期 24 単位
	子ども学科	124 単位		1 年生年間 54 単位 2 年生年間 56 単位 3、4 年生 1 学期 24 単位
	児童教育学科	124 単位		1 学期 24 単位
社会学部	社会情報学科	124 単位		1 学期 24 単位
	メディア表現学科	124 単位		1 学期 24 単位
	地域社会学科	124 単位		1 学期 24 単位
メディア学部	メディア学科	124 単位		全学年年間 44 単位
経営学部	経営学科	124 単位		1 学期 24 単位
外国語学部	英米語学科	124 単位		1 学期 24 単位
	中国語学科	124 単位		1 学期 24 単位
	韓国語学科	124 単位		1 学期 24 単位
	日本語・日本語教育学科	124 単位		1 学期 24 単位
保健医療学部	理学療法学科	128 単位		1 学期 30 単位
	作業療法学科	128 単位		1 学期 30 単位
	言語聴覚学科	128 単位		1 学期 30 単位
看護学部	看護学科	128 単位		1 学期 30 単位
GPAの活用状況 (任意記載事項)		https://www.mejiro.ac.jp/univ/campuslife/iwatsuki/class/examination/		
学生の学修状況に係る参考情報 (任意記載事項)		https://		

⑦校地、校舎等の施設及び設備その他の学生の教育研究環境に関すること

公表方法： 新宿キャンパス https://www.mejiro.ac.jp/univ/campuslife/shinjuku/life/campus_map/ さいたま岩槻キャンパス https://www.mejiro.ac.jp/univ/campuslife/iwatsuki/life/campus_map/

⑧授業料、入学金その他の大学等が徴収する費用に関すること

学部名	学科名	授業料 (年間)	入学金	その他	備考(任意記載事項)
人間学部	心理カウンセリング学科(1年次生)	796,000円	250,000円	280,000円	施設設備費
	心理カウンセリング学科(2・3・4年次生)	715,000円	-	336,000円	施設設備費, 実験実習費, 教育維持費
	人間福祉学科(1年次生)	796,000円	250,000円	280,000円	施設設備費
	人間福祉学科(2・3・4年次生)	715,000円	-	336,000円	施設設備費, 実験実習費, 教育維持費
	子ども学科(1年次生)	810,000円	250,000円	280,000円	施設設備費
	子ども学科(2・3・4年次生)	715,000円	-	350,000円	施設設備費, 実験実習費, 教育維持費
	児童教育学科(1年次生)	796,000円	250,000円	280,000円	施設設備費
	児童教育学科(2・3・4年次生)	715,000円	-	336,000円	施設設備費, 実験実習費, 教育維持費
社会学部	社会情報学科(1年次生)	806,000円	250,000円	280,000円	施設設備費
	社会情報学科(2・3・4年次生)	725,000円	-	336,000円	施設設備費, 実験実習費, 教育維持費
	メディア表現学科(3・4年次生)	765,000円	-	336,000円	施設設備費, 実験実習費, 教育維持費 2018年度募集停止のため1・2年次生は在籍しない
	地域社会学科(1年次生)	796,000円	250,000円	280,000円	施設設備費
	地域社会学科(2・3・4年次生)	715,000円	-	336,000円	施設設備費, 実験実習費, 教育維持費
メディア学部	メディア学科(1年次生)	846,000円	250,000円	280,000円	施設設備費
	メディア学科(2年次生)	765,000円	-	336,000円	施設設備費, 実験実習費, 教育維持費 2018年度開設のため、3・4年次生は在籍しない
経営学部	経営学科(1年次生)	793,000円	250,000円	280,000円	施設設備費
	経営学科(2・3・4年次生)	715,000円	-	330,000円	施設設備費, 実験実習費, 教育維持費
外国語学部	英米語学科(1年次生)	790,000円	250,000円	280,000円	施設設備費
	英米語学科(2・3・4年次生)	715,000円	-	330,000円	施設設備費, 実験実習費, 教育維持費
	中国語学科(1年次生)	790,000円	250,000円	280,000円	施設設備費
	中国語学科(2・3・4年次生)	715,000円	-	330,000円	施設設備費, 実験実習費, 教育維持費
	韓国語学科(1年次生)	790,000円	250,000円	280,000円	施設設備費
	韓国語学科(2・3・4年次生)	715,000円	-	330,000円	施設設備費, 実験実習費, 教育維持費
	日本語・日本語教育学科(1年次生)	790,000円	250,000円	280,000円	施設設備費
日本語・日本語教育学	715,000円	-	330,000円	施設設備費, 実験実	

	科 (2・3・4 年次生)				習費, 教育維持費
保健医療学部	理学療法学科 (1 年次生)	965,000 円	250,000 円	510,000 円	施設設備費, 実験実習費
	理学療法学科 (2・3・4 年次生)	900,000 円	-	600,000 円	施設設備費, 実験実習費, 教育維持費
	作業療法学科 (1 年次生)	965,000 円	250,000 円	510,000 円	施設設備費, 実験実習費
	作業療法学科 (2・3・4 年次生)	900,000 円	-	600,000 円	施設設備費, 実験実習費, 教育維持費
	言語聴覚学科 (1 年次生)	965,000 円	250,000 円	510,000 円	施設設備費, 実験実習費
	言語聴覚学科 (2・3・4 年次生)	900,000 円	-	600,000 円	施設設備費, 実験実習費, 教育維持費
看護学部	看護学科 (1 年次生)	1,195,000 円	250,000 円	420,000 円	施設設備費, 実験実習費
	看護学科 (2・3・4 年次生)	1,130,000 円	-	500,000 円	施設設備費, 実験実習費, 教育維持費

⑨大学等が行う学生の修学、進路選択及び心身の健康等に係る支援に関すること

a. 学生の修学に係る支援に関する取組
(概要) 学費については、大学（学校法人）、保護者の教育後援団体及び同窓会組織等の寄付により設立された奨学金管理団体から、成績優秀者又は経済的支援を必要としている学生に奨学金を給付又は貸与している。また本学では資格取得を奨励しており、大学が指定する資格を取得した学生には奨励金を支給している。 施設面については、学内にラーニングコモンズ、ネットカフェ等を整備し、学生の自発的な学習を側面的に支援している。
b. 進路選択に係る支援に関する取組
(概要) キャンパス別に支援を行っており、新宿キャンパスでは、多様な進路に対応するために『キャリアデザイン』の授業だけではなく、就職活動で必要とされる各種支援講座を1年次から開始している。また、ゼミの教員とキャリアセンター職員との協同で、学生の進路の実態把握に努めている。さらに経験豊かな職員とキャリアカウンセラーが4名常駐し、学生一人ひとりの相談に応じている。ハローワークとも連携を取っている。 さいたま岩槻キャンパスでは、国家試験の指導に加え、専門家による履歴書指導と面接マナー講座、小論文の添削、面接指導を個別に行なっている。
c. 学生の心身の健康等に係る支援に関する取組
(概要) 保健室を設置し、体調不良及び怪我等の応急対応のほか、学生の健康及び身体面での悩み等の相談に随時応じている。 さらに、学生相談室を設置し、室長（精神科医）とカウンセラー（臨床心理士）3名を配置し、学生のメンタル面でのサポートを中心に、学生が抱える悩みや問題の解決に向けた支援を行なっている。また、学生自身が自身の状況を把握と対処ができるように、学生のコミュニケーションスキル向上に向けたワークショップを実施している。

⑩教育研究活動等の状況についての情報の公表の方法

公表方法：

①教育研究所：<https://www.mejiro.ac.jp/kyouiku/>

刊行物＝

「人と教育」<https://www.mejiro.ac.jp/kyouiku/bulletin/report/>

「目白大学高等教育研究」

https://www.mejiro.ac.jp/kyouiku/bulletin/higher_education/

②研究活動の紹介：<https://www.mejiro.ac.jp/univ/research/center/activities/>

③研究紀要の刊行（目白大学リポジトリ）<https://mejiro.repo.nii.ac.jp/>